

さるびあ

2012年
(平成24年)5月
第11号

運営理念
 つながる
 "きずな"
 広がる
 "笑顔"
 あなたらしさの
 お手伝い

発行

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
洲本市五色健康福祉総合センター

TEL (0799) 33-0503 FAX (0799) 33-0318
〒656-1331 兵庫県洲本市五色町都志大日707



この4月に洲本市五色健康福祉総合センター長に就任しました川見でございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

挨拶

センター長 川見 和彦

皆様方には、平素から当センターの運営に多大のご支援・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターは、平成21年度から洲本市からの指定管理を受け、兵庫県社会福祉事業団が運営しており、4月からは4年目を迎えたところでございます。平成24年度も引きつづき当事業団が推進する「新経営10か年計画」に基づいた、①利用者本位のサービスの提供、②地域で支え合う仕組みづくり、③地域と福祉の連携による事業推進、④人材育成と働きがいのある職場づくり、⑤経営基盤の安定・強化の5つの柱をもとに各事業を推進してまいります。

また、当センターの運営理念である「つながる”きずな”広がる”笑顔”あなたらしさのお手伝い」を旗印として、そして、相談から支援まで地域を結ぶ高齢者福祉サービスの方々から信頼され選ばれるセンターとなるよう取り組んでまいりますので、今後ともさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度事業計画

I 趣旨

平成24年度は、事業団が推進する「新経営10か年計画」の第2期実施計画を具体的に、効果的に実践していく年度である。指定管理運営第2期の節目である総合センターの各事業は、介護保険制度の改正に的確に対応するとともに健全且つ安定的な運営を推進していく必要がある。また、これまでの3年間の取り組みを検証しつつ、さらに地域・社会に貢献できる事業を着実に展開していくことが求められる。

新年度は新経営10か年計画実施計画やガバナンス推進計画に基づき、各事業所の特徴を生かし地域の中で共に支え合えるセンターの役割や機能を最大限に発揮していく。

II 事業計画

1 利用者本位のサービスの提供

- (1) 利用者本位で質の高いサービスの提供
 - ア 施設機能の充実
 - ・高齢者福祉サービス等の充実：法改正に係る各事業の検証
 - ・地域包括ケアを推進するための事業展開の検討・実施
 - イ 利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供
 - ・ユニットケアによる生活の質の向上及び居住環境の改善
 - ・ユニットケアの推進目標数値の設定
 - ・高齢者の就労支援の研究・検討・実践と模擬通貨制度の検討
 - ・サービス評価基準に基づく自己評価(特養)と第三者評価受審(GHひろいしの里、五色GH)
 - ・あったかサポートの手法による施設間の相互評価
 - ・介護福祉士等の資格取得支援の実施
 - ・専門スーパーバイザーによる指導研修(正規・嘱託員のリーダー育成)
 - ・施設看護指導専門員による施設看護機能の強化
 - ウ 利用者にとって安全で安心なサービス提供
 - ・危機管理基本指針に基づくリスクマネジメント体制の確立
 - ・安全・安心総点検の実施
 - ・危機管理委員会の開催と各種マニュアルの見直し
 - ・防災協定施設としての受け入れ訓練及び地域との合同訓練の実施
 - ・事件・事故等対応研修及び救命講習会の実施
 - ・専門職種連絡会の実施(栄養士・看護師等)

2 地域で支えあう仕組みづくり

- (1) 地域包括ケアシステムへの取り組み
 - ア 地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供
 - ・地域包括ケアを推進するための事業展開の検討・実施
 - ・地域ケア・リハネットワークの構築と実践
 - ・訪問介護事業の実施・充実
 - ・介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充
 - ・通所介護事業の実施
 - ・居宅介護支援事業の実施
 - イ 多様な社会資源を活用した地域ネットワークづくりの先導
 - ・ごしき地域包括支援センター等の運営
- (2) 地域の福祉人材の育成支援
 - ア 研修機会等の地域への提供
 - ・研究成果など発表・研修機会のオープン化の推進
- (3) 地域に拓かれた施設運営
 - ア 施設機能の地域への提供
 - ・リハ医療・福祉に関する公開セミナー等の実施
 - ・ボランティアの積極的な受け入れ
 - ・地域交流行事の開催による地域との交流推進
 - ・施設運営協議会機能の充実・強化
- (4) 社会貢献への取り組み
 - ア 個性と魅力ある施設の実現に向け、地域展開等の視点による施設機能の提供
 - イ 地域の福祉人材の育成
 - ・地元小・中への総合福祉体験やトライやるウィーク等福祉の普及啓発活動
 - ウ 研修機会等の地域への提供
 - ・施設主催による地域交流セミナーの開催(再掲)
 - エ 施設機能を活用した地域との相互交流
 - ・施設緑化の推進
 - ・施設内ロビー開放による市民ギャラリー等の開催
 - ・施設内喫茶の地域住民への開放

3 医療と福祉の連携による事業推進

- (1) 医療・福祉の連携モデル事業の実施
 - ア ターミナルケア等に関する医療・福祉の連携
 - ・地域医療との連携によるターミナルケアの実践
 - イ 認知症に関する医療・地域ケアの先導的展開
 - ・認知症地域ケアの実践・研究等の実施(認知症ケア推進チーム、認知症ケア実践研究会の開催、施設巡回指導、脳リハ練習帳ご当地版の普及啓発等)
 - ・認知症対応型共同生活介護の運営(GHひろいしの里、五色GH)
 - ・共用型認知症対応型通所介護事業の運営(GHひろいしの里)
 - ・短期利用共同生活介護の開始(GHひろいしの里、五色GHでH25.2予定)
- (2) リハ医療・福祉に関する専門情報の発信
 - ア 情報発信機能の強化・充実
 - ・広報戦略に基づく広報の推進
 - イ 専門情報の発信
 - ・事業団実践・研究紀要の発行

4 人材育成と働きがいのある職場づくり

- (1) 人材の確保・育成
 - ア 自律型組織を担う人材の育成
 - ・OJTの推進
 - ・研修委員会の設置及び職員研修の実施
 - ・OFF-JTの実施
 - ・SDSの実施
 - ・非正規職員に対する職員研修の充実
- (2) 人事・組織マネジメントの強化
 - ア ガバナンスの推進
 - ・ガバナンス推進計画に基づく取り組み方策の実施
 - ・職員提案制度の活用

5 経営基盤の安定・強化

- (1) 経営基盤の確立
 - ・経費削減大作戦の実施
 - ・経営目標の設定と評価の明確化
 - ・施設種別単位ごとの独立した経営
- (2) 財務管理の強化
 - ・財務管理システムの拡充による経営の効率化
 - ・財務管理の人材育成、職員の意識改革
- (3) 各事業の経営目標数値の設定

平成23年度 決算状況

【収入の部】		(単位:円)
勘定科目	金額	
介護報酬	526,012,401	
その他	39,916,142	
合計	565,928,543	

【支出の部】		(単位:円)
勘定科目	金額	
人件費	376,506,863	
事務費	46,123,916	
事業費	84,879,338	
固定資産	900,112	
事業団共通経費ほか	58,925,000	
合計	567,335,229	

当期資金収支差額	▲1,406,686
前期末支払資金残高	3,284,585
当期末支払資金残高	1,877,899

平成24年度 予算状況

【収入の部】		(単位:円)
勘定科目	金額	
介護報酬	519,571,000	
その他	31,249,000	
合計	550,820,000	

【支出の部】		(単位:円)
勘定科目	金額	
人件費	373,426,000	
事務費	62,375,000	
事業費	82,353,000	
固定資産	1,163,000	
事業団共通経費ほか	31,503,000	
合計	550,820,000	

当期資金収支差額	0
前期末支払資金残高	
当期末支払資金残高	

さるびあ便り

支援課長 木立 真由美

このたび、春の人事異動で当施設の支援課長として新たな職務に就くこととなりました。久しぶりの特別養護老人ホームでの勤務を密かに喜びつつ、初めて取り組む仕事の責任の重さを感じています。

特別養護老人ホームでは、ご利用者の願いや望みに配慮した家庭的な生活が営めるサービス提供ができるよう、ユニットごとに工夫を凝らし、排せつ・入浴・食事・外出支援等の取り組みを行ってきました。

特に当施設では、個別外出支援に力を入れ、ご利用者の希望を引き出し、出来る限り叶えて来ました。今年度もご利用者の笑顔を楽しみに頑張っていきたいと考えています。また、今までOJTとして施設内で行ってきた研修を地域に開放し、関係機関の専門職や近隣施設の職員、学校や地域住民等を対象に学ぶ機会の提供と地域との交流を目指すとともに、地域の福祉教育への協力をしていきたいと考えています。

今後も運営理念に基づき、職員が一丸となり利用者の皆様が中心となるサービス、笑顔がこぼれるサービスが提供できるよう努めていきますのでよろしく願います。

口腔機能維持 管理体制がスタート



口腔内の清潔が健康につながるといわれます。五色・サルビアホールでは、今年度から地元の歯科医師や歯科衛生士と連携しながら、ご利用者の口腔ケアに取り組んでおります。柳澤誠太郎医師のご協力をいただきながら、安全で効果的な口腔ケアが実施できるよう更に充実したケアを提供してまいります。



脳リハ練習帳 販売中!!

洲本市五色健康福祉総合センターでは、平成21年度から認知症地域ケア実践研究を実施しており、その中で脳リハ練習帳・ご当地版(洲本編)を作成しました。センター事務所に1部650円で販売しています。



第2回地域 交流セミナーを 開催しました

2月18日(土)に洲本市五色庁舎3階の五色文化ホールにて、開設20周年記念とし「笑いと健康」をテーマに第2回地域交流セミナーを実施しました。落語家 桂 坊枝氏の講演「笑いは心のビタミン剤」と体育指導員 堀尾典之氏の健康体操を行い、約170名の方が参加してくださいました。





洲本市五色健康福祉総合センター広報隊
**五色戦隊・サルビアレンジャー
 出動準備中!!**

総合センターの情報発信と地域との交流のために今年度も活動予定です。メンバー交替のため現在、出動準備中です。サルビアレンジャーについてのお問い合わせ、派遣の希望がある方は総合センター山口まで

ボランティア募集

洲本市五色健康福祉総合センターでは、ご利用者との余暇活動や外出支援、喫茶コーナーのお手伝いなど、ご利用者と一緒にご過ごしていただけるボランティアの方を随時募集しています。
 問い合わせ等は総合センター担当: 木立・山口まで

利用者会を開催しています!!

五色・サルビアホールでは、ご利用者からのご要望を支援サービスに活かすため、菜の花の里と千鳥の里において、月1回利用者会を開催しています。ご利用者から食事や外出などの自由なご要望や施設での生活について、さまざまなご意見が出ています。今後もより一層、サービスの質の向上のためのご要望やご意見を聞かせていただきたいと思います。



人の動き (正規・嘱託職員)

◎ ありがとうございます
 ▼3月31日付
 センター長
 垣尾 幹男(事務局へ)
 所長
 飛田 節子(退職)
 支援課長
 中島 祥江(自立生活訓練センターへ)
 支援員
 安井 一彰(総合リハビリ地域支援課へ)
 谷垣 貴司(万寿の家へ)
 青木 真俊(万寿の家へ)
 橋本えみ子(洲本市へ復帰)
 増田 早苗(洲本市へ復帰)
 藤岡 恭子(退職)
 数河 千佳(退職)
 看護師
 看護師 廣本 絹子(洲本市へ復帰)
 機能訓練担当
 中原 礼子(退職)
 事務員
 神崎 和子(退職)
 五色デイサービスセンター
 吉岡美江子(洲本市へ復帰)
 五色介護支援センター
 伊藤 朋子(退職)
 五色ホームヘルプステーション
 八原ひとみ(退職)
 ごしき地域包括支援センター
 樫野 尚子(退職)

◎ よろしく願います
 ▼4月1日付
 センター長
 川見 和彦(事務局より)
 所長
 飛田 節子(再雇用)
 支援課長
 木立真由美(事務局より)
 支援員
 西浦孝二郎(あわじ荘より)
 平田 将照(五色精光園より)
 楠 希代美(新規)
 三原 裕士(新規)
 村山 精宏(新規)
 花田 佑介(新規)
 矢田 絹恵(新規)
 堀 はるみ(新規)
 看護師
 武本 わか(洲本市より派遣)
 五色デイサービスセンター
 平田 春江(洲本市より派遣)
 ごしき地域包括支援センター
 岡 公子(新規)
 五色介護支援センター
 松田由美子(新規)



堀 矢田 松田 岡



平田 花田 村山 川見 平田
 武本 三原 楠 木立 西浦

編集後記

2012年はロンドン五輪が開催され、世界に目を向ければ、米・ロ・仏など、大統領選挙が行われます。大きな世界情勢の変化に伴い経済にも大きな影響がある年になりそうです。

私事ではありますが昨年度は新人職員として新たなことの連続でしたが、今年度は2年目を迎え、変わらぬ新鮮なことが続いております。更に成長できるように頑張っていきます。

サルビア・イエロー

浜坂温泉保養荘 『ほっ』とする宿



写真は松会席
 おすすめ! 今が旬のホタルイカ
 8,365円~(1泊2食税込込み)
 (60才以上平日2名ご利用の場合)
 お問い合わせ・お申し込みはこちらまで
 〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
TEL(0796)82-3645

1階ホールに展示する作品を募集!!

総合センターでは、地域交流のために1階ホールを市民ギャラリーとして利用し、書道、絵画、パッチワーク、工芸品などの作品展を開催しています。現在は写真展を開催中です。これからも展示する作品を募集しています。展示に関して費用はかかりませんので、お気軽にご連絡ください。



※ご利用者の写真については、ご了承の上掲載しています。
 ※表紙の写真は五色町駄原の竜宝寺にて撮影。